

<機械・農作業の共同化、集落営農または担い手への農地集積に取り組む事例>

## 法人を母体として一集落一農場を目指す

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	石川県七尾市中島町上島協定 <small>ななおしなかにしまちうわぼたけ</small>			
協定面積 9.3ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	米			
交付金額 195万円	個人配分			45%
	共同取組活動 (55%)	農用地の維持管理費		35%
		農道の維持管理・補修等		15%
		役員報酬		5%
協定参加者	農業者16人、上島農業機械利用組合（構成員16人）			開始：平成12年度

### 2. 制度取組の経緯

当集落は、市の北部山間地域で、鮎やヤマメが棲む熊木川上流の鉦打地区は、名水百選にも選ばれるほど水がきれいな場所である。農業が主体で高齢者が多く、過疎化も著しいが、昭和53年から集落営農の体制を図り、機械利用組合を組織して本制度に継続的に取り組み、農地の保全、交付金の有効活用を図ってきた。現在はUIターンで若い人も加わり、地域ぐるみでおいしい米作りに取り組んでいる。

### 3. 取組の内容

当集落では、農地・水保全管理支払に取り組む平坦地域と本制度に取り組む棚田地域が連携をとりながら「みんなで楽しく農業を営み、集落の農地はみんなで守ろう」のスローガンを掲げ、特定農業法人を母体として「一集落一農場」の実現を目指している。このため、組合を中心とし農地集積を進めることや、大型防除機械導入による共同防除体制の確立を協定目標に掲げて進めてきており、第3期対策からは協定内に維持困難な農用地が発生した場合は組合が引き受ける体制としている。

さらに集落では、耕作放棄地を復旧して米以外の作物を作付けすることや、うまい米作りを目指した施肥・水管理などの栽培協定の締結、女性や高齢者を登用した中島菜の農産加工品開発、桜並木の周辺整備など景観への配慮、新規就農者の研修受け入れなど、集落ぐるみで地域を活性化させる様々な活動を行っている。



【手入れされた桜並木の農道】



【機械利用組合による稲刈り】

### [集落の将来像]

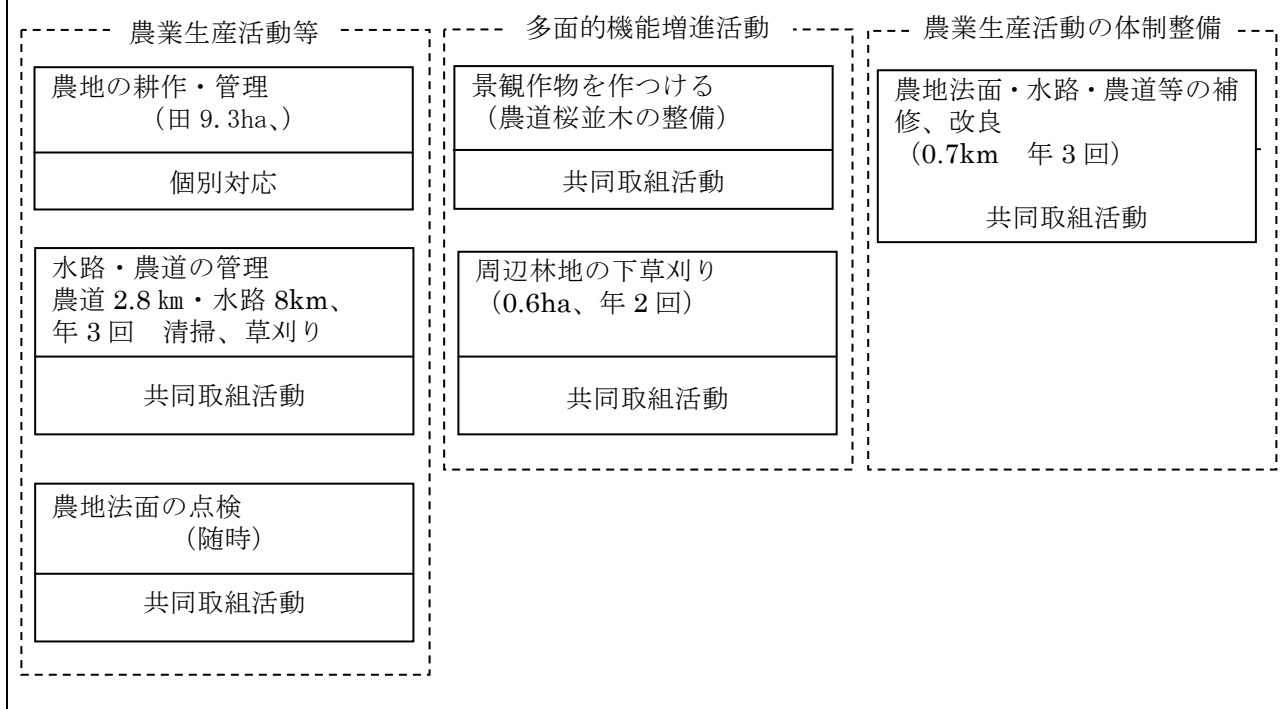
耕作放棄地防止活動を集落全体で取り組み、土地条件を活かしながら、担い手が集まる集落を目指す。



### [将来像を実現するための活動目標]

○担い手への農地集積を維持、拡大をおこないながら新規就農者の確保を目指す。

#### [活動内容]



### [協定参加者以外との連携]

農地・水保全管理支払に取り組む耕作者と連携して、集落内の農業生産活動に取り組んでいる。

## 4. 今後の課題等

当集落では、組合を中心に様々な活動を行って地域を活性化させてきたが、周辺地域全体の高齢化が著しい状況である。このような農業の担い手が不足している現状を打開するため、中島菜など地域の特産物を活かして新規就農者の研修の受け入れを行っているが、研修で集落に訪れる新規就農者等をどのようにして地元に着してもらうかが今後の課題となると考えている。

### [これまでの主な効果]

- 機械・農作業の共同化
  - ・機械の共同利用 6.6ha
  - ・大型防除機導入
- 担い手への農地集積促進
  - ・集積率 87.7% (2.7ha)
  - ・耕作放棄地の復旧
- 特定農業法人設立
  - ・新規就農者受け入れ (農業インターンシップ)